２０１６年度

事 業 報 告 書

自 ２０１６年４月 １日
至 ２０１７年３月３１日

公益財団法人
日本フラッグフットボール協会

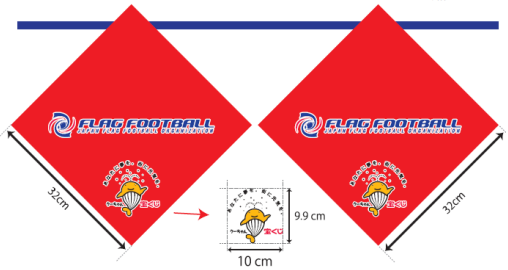
◆◆◆ 2016 年度の事業報告 ◆◆◆

１：「小学校授業サポートガイド」の開発と配布

・2015 年度までの授業研究を経て、推奨の指導法を元に教材を開発、フラッグフットボールに取り組んだことのない先生方でもすぐに授業を始めることができる公認テキストとして「小学校授業サポートガイド」を全国 4,500 人の先生方へ提供した。

２：小学生向け副読本「作戦ブック」および「フラッグセット」の製作と寄贈　　（助成：一般財団法人 日本宝くじ協会）

・フラッグフットボールの授業を小学生も簡単に理解できるよう、子供用補助教材「作戦ブック」を総計 140,000 人分制作、フラッグ 40 組をセットにして全国 700 校の小学校へ寄贈した。



３：用具の貸し出し

・用具の貸出の希望を受け付け、過去最大となる日本全国 165 か所へ貸出を行った。
「用具貸出ハドルセット」と題して返却時の送料も含め完全無料にて実施した。
（１校あたり平均 3 か月間）

４：イベントの開催や協力

・フラッグフットボールチャリティーマッチ「ハドルボウル」の開催等、各地の大会やイベント、体験会等を開催、協力を行った。

＜中央記念行事スポーツ祭り（2016 年 10 月 10 日）＞

＜ハドルボウル 2016（2017 年 1 月 21 日 22 日）＞

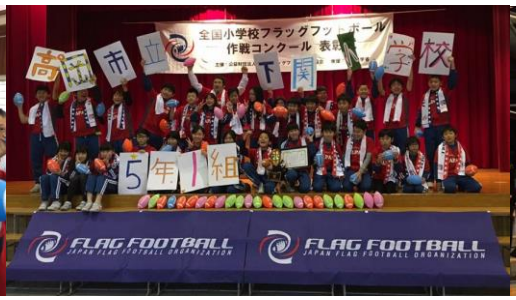
5：第 7 回作戦コンクール「作戦スーパーボウル 2016」の開催

・全国の小学校が「授業でつくった作戦」を応募する作戦コンクールを開催した。
・応募作戦は過去最大となる 11,376 点が寄せられた。
・2016 年度は「中学年部門」と「高学年部門」の全国優勝校を選出、両校で表彰式も実施。その他、順位等もホームページにて発表し、表彰品を贈呈した。

＜中学年の部＞

＜高学年の部＞

＜2016 年度 作戦コンクール表彰式の様子＞



6 ：NFL フラッグフットボール日本選手権大会

・フラッグフットボールの日本選手権として「ＮＦＬフラッグフットボール日本選手権大会」を春季オープン大会、秋季選手権大会の 2 期に分けて開催した。
・選手権の決勝大会「NFL FLAG FINAL 2016」は川崎スタジアムで開催した。（2016 年 12 月 25 日）

◆小学生低学年カテゴリー
優勝：ノジマ相模原ライズ Jr. チーム S（東日本代表）
◆小学生カテゴリー
優勝：慶應義塾フラッグユニコーンズ 2011（東日本代表）
◆中学生カテゴリー
優勝：草津リトルパンサーズ A（西日本代表）
◆中学生女子カテゴリー
優勝： FFFC ジュニアマロンティアーズ（東日本代表）
◆女子カテゴリー
優勝：尼崎チャレンディーズ（西日本代表）
◆一般カテゴリー
優勝：上ヶ原ウォリアーズ（西日本代表）

７：公式規則委員会の開催

・日本国内におけるフラッグフットボールの標準を示す「公式規則」の制定と広報のために公式規則委員会を開催、安全性の協議と共に、2017 年度版の公式規則を整備した。

８：「甲子園ボウル」記念ボールの寄贈

・アメリカンフットボールの大学日本一決定戦である「甲子園ボウル」と提携し、新たに記念ボールを制作、10 球をセットとして全都道府県に 1 校ずつ計 47 校の小学校へ寄贈した。

９：新たな用具の共同開発と流通の拡大

・これまで日本全国約 2,500 校の小学校へ寄贈し、実践を重ねてきた「フラッグ」について正式にモルテン社と共に商品化し、販売を開始。

・また、ミカサ社と新ボールも共同開発し、同社の「スマイルシリーズ」として小学校授業からレクリエーションまで幅広く楽しまれるボールとして販売を開始。

これらの用具は小学校体育用の各社カタログや量販店等で 2017 年度より広く販売される予定。

以上